

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月30日

島根県知事

殿



提出者

住 所 島根県浜田市下府町327番地41

氏 名 祥洋建設株式会社

代表取締役 今井久晴

電話番号 0855-23-6667

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

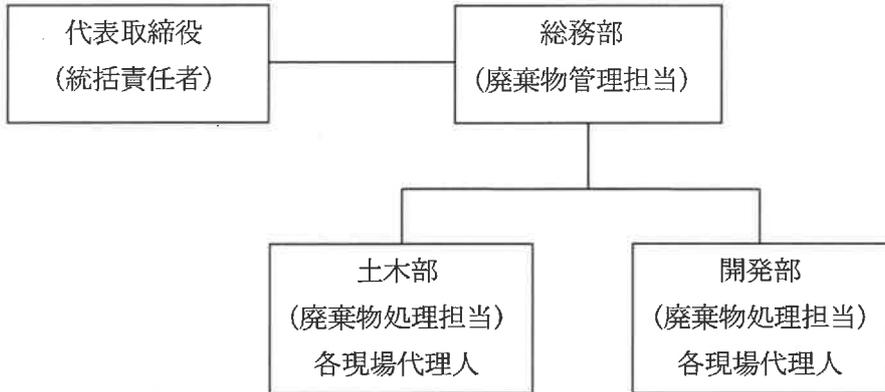
事業場の名称	祥洋建設株式会社
事業場の所在地	島根県内複数の工事現場(松江市を除く)
計画期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	3,802,124千円(完成工事高)
③従業員数	66名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 添付1のとおり

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙 添付2のとおり	—
	排出量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 各現場において、作業工程の見直し、なるべく廃棄物が発生しないように努めている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙 添付3のとおり	—
	排出量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 上記の内容を実施予定。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各現場にて、コンクリートがら、アスファルトがら等の種類ごとに分別を行い、運搬・処理を委託している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の内容を実施予定。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	—		—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—	t	— t
	(これまでに実施した取組) 実施はありません。			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	—		—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	t	— t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定はありません。			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	—		—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—	t	— t
(これまでに実施した取組) 実施はありません。				
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	—		—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	t	— t
(今後実施する予定の取組) 実施予定はありません。				

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 実施はありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定はありません。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙 添付2とおりの	—
	全処理委託量	— t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従って産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。 なるべく優良認定業者に処理委託をし、再生利用可能な産業廃棄物は再生利用業者へ処理を委託する。		

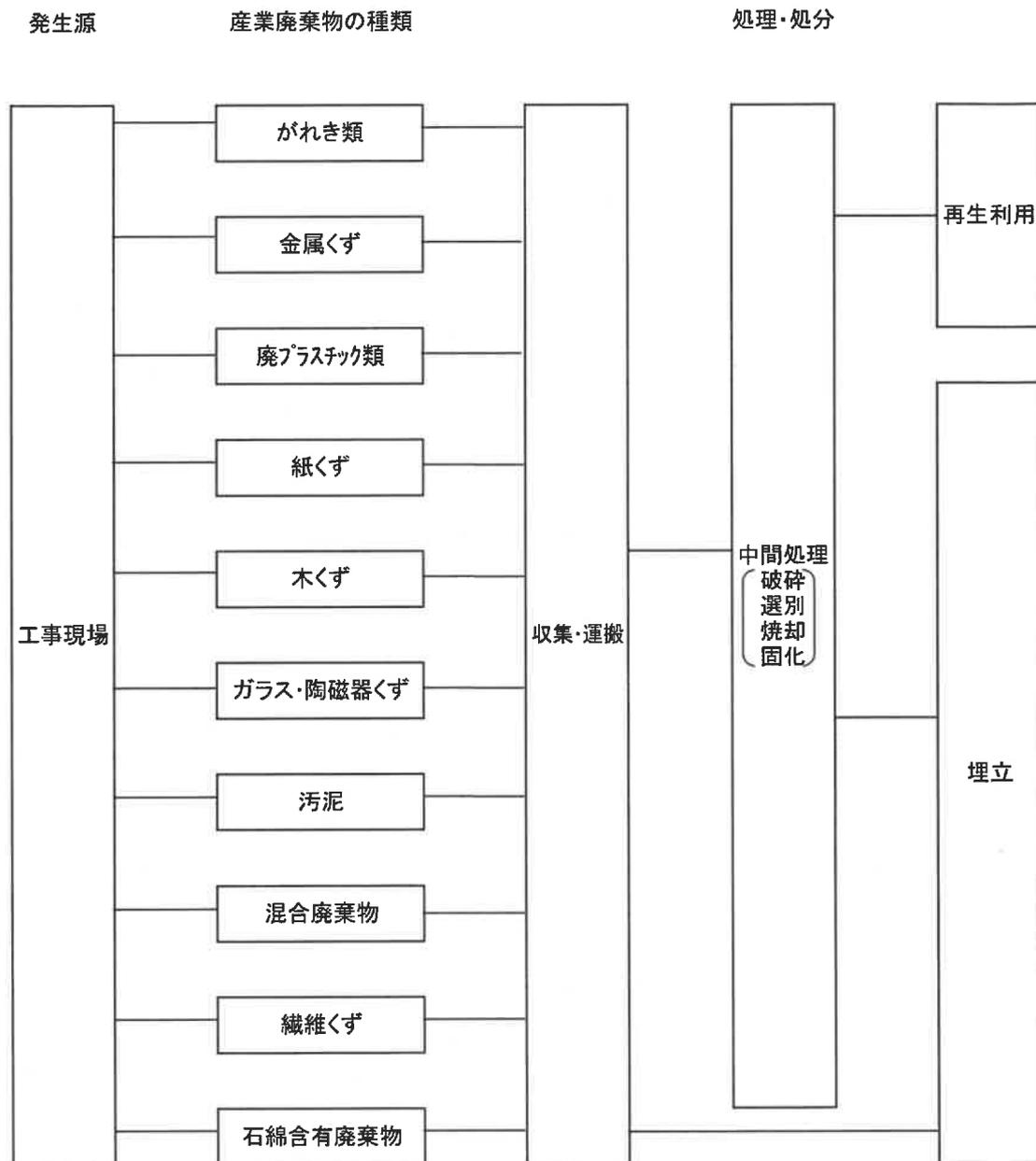
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙 添付3とおりに	—
	全処理委託量	— t	— t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 実施している取組みを予定。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

添付1 産業廃棄物発生処理フロー図



※工事現場より発生した産業廃棄物は処理業者へ委託し処分する。

※収集・運搬については委託に限らず、自社で収集・運搬の場合もある。

(添付2)令和6年度実績

前年度の 産業廃棄物 抑制目標		本年度実績													
		①産業廃棄物 排出量	②自己直接 再生利用	③自己直接 埋立処分 又は 海洋投入量	④自己中間 処理量	⑤④のうち 熱回収を 行った量	⑥自己中間 処理残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自己中間 処理後 再生利用 した量	⑨自己中間 処理後 埋立処分 又は 海洋投入量	⑩直接委託 及び自己処理 後委託処分量	⑪⑩のうち 優良認定処理 業者への処理 委託量	⑫⑩のうち 再生利用 業者への処理 委託量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処理 委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定業 者以外の熱回収 を行う業者への 処理委託量
がれき類	t	✓ 3969.906	0	0	0	0	0	0	0	0	✓ 6815.626	✓ 48,248	✓ 6639.210	0	0
がれき類(石綿含有産業廃棄物)	t	✓ 32.560	0	0	0	0	0	0	0	0	✓ 220.372	0.000	0.000	0	0
ガラス・陶磁器くず	t	✓ 158.640	0	0	0	0	0	0	0	0	✓ 149.360	✓ 68,350	✓ 31,150	0	0
ガラス・陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物)	t	✓ 1.680	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0	0
プラスチック類	t	✓ 93.128	0	0	0	0	0	0	0	0	✓ 81.883	✓ 47,583	0.000	0	0
プラスチック類(石綿含有産業廃棄物)	t	✓ 0.016	0	0	0	0	0	0	0	0	✓ 0.175	0.000	0.000	0	0
金属くず	t	✓ 4.200	0	0	0	0	0	0	0	0	✓ 12.317	✓ 12,317	0.000	0	0
混合廃棄物	t	✓ 133.359	0	0	0	0	0	0	0	0	✓ 83,044	✓ 68,302	0.000	0	0
紙くず	t	✓ 12.528	0	0	0	0	0	0	0	0	✓ 3,345	✓ 3,345	0.000	0	0
木くず	t	✓ 197.618	0	0	0	0	0	0	0	0	✓ 288,277	✓ 138,710	✓ 288,277	0	0
繊維くず	t	✓ 0.019	0	0	0	0	0	0	0	0	✓ 0.072	✓ 0.072	0.000	0	0
汚泥	t	✓ 4.840	0	0	0	0	0	0	0	0	✓ 0.550	✓ 0.550	0.000	0	0
廃油	t	✓ 0.432	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0	0
水銀使用製品産業廃棄物(蛍光灯)	t	✓ 0.022	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0	0
計	t	✓ 4608.948	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	✓ 7655.021	✓ 387,477	✓ 6958.637	0.000	0.000

(添付3)令和7年度目標

		本年度の目標												
前年度の産業廃棄物発生量	①産業廃棄物排出量	②自己直接再生利用	③自己直接埋立処分又は海洋投入量	④自己中間処理量	⑤④のうち熱回収を行った量	⑥自己中間処理残さ量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自己中間処理後再生利用した量	⑨自己中間処理後埋立処分又は海洋投入量	⑩直接委託及び自己処理後委託処分量	⑪⑩のうち優良認定業者への処理委託量	⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
		再生利用	埋立処分又は海洋投入量	処理量	行った量	処理残さ量	処理により減量した量	再生利用した量	埋立処分又は海洋投入量	後委託処分量	業者への処理委託量	業者への処理委託量	業者への処理委託量	業者への処理委託量
がれき類	t	0	0	0	0	0	0	0	0	5452.501	5452.501	5452.501	0	0
がれき類(石膏含有産業廃棄物)	t	0	0	0	0	0	0	0	0	176.298	176.298	0.000	0	0
ガラス・陶磁器くず	t	0	0	0	0	0	0	0	0	119.488	119.488	0.000	0	0
プラスチック類	t	0	0	0	0	0	0	0	0	65.506	65.506	0.000	0	0
プラスチック類(石膏含有産業廃棄物)	t	0	0	0	0	0	0	0	0	0.140	0.140	0.000	0	0
金属くず	t	0	0	0	0	0	0	0	0	9.854	9.854	0.000	0	0
混合廃棄物	t	0	0	0	0	0	0	0	0	66.435	66.435	0.000	0	0
紙くず	t	0	0	0	0	0	0	0	0	2.676	2.676	0.000	0	0
木くず	t	0	0	0	0	0	0	0	0	230.622	230.622	230.622	0	0
繊維くず	t	0	0	0	0	0	0	0	0	0.058	0.058	0.000	0	0
汚泥	t	0	0	0	0	0	0	0	0	0.440	0.440	0.000	0	0
計	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6124.018	6124.018	5683.123	0.00	0.00

※ 上記の本年度受注予定箇所の合計から前年度より発生量を約20%抑制する事を目標に設定した数値ですが、今後の受注工事の内容により大きく変化する可能性があります。